

2016. 5. 23 熊本支援報告

熊本県、益城町、西原村、南阿蘇村への支援活動報告

5月18日現在 当団体のコーディネート含めメンバー、協力団体等により、熊本県へ120名程のボランティア活動者を送り込みました（すべてが自己完結含めた自腹です、北は宮城県から、東日本大震災の支援継続の関係で当団体へご相談がありコーディネートしました。）。大半は神奈川県近郊のボランティアさんですが、兵庫県の学生団体などもコーディネートしました、4月24日に、震災後初めて熊本へ先遣隊でお伺いしました、当時は（西原村）災害ボランティアセンターを開設（4月24日ごろ）できるか？悩んでいた地域です。（4月25日朝のボランティアセンター開設準備会議は18名のスタッフしかいませんでした。（この先どうなるか大変心配でした、自分も先遣隊で3泊しか予定をしていませんでしたので。）



翌26日災害ボランティアセンターのシュミレーションを行いました、うまく機能しません。運営側スタッフがさらに多く必要になる事が改めて問われました。

幸い天候が良くなかったため、センター開設が遅れた事、送れたことにより開設のシュミレーションが出来た事（3回ほど行ったそうです。）、各種の問題点が多く出てきたこと、その事で県内だけのボランティア募集を行う予定でしたが、多くのボランティアが必要と考え、全国から受け入れますと発表ができました、その事で東北などで活動してきた団体や関西方面で活動してきた団体などから多くの支援が得られました。

4月28日にVCが開設でき、サテライトなども各団体にお任せすることが出来ました、

4月30日には、九州地方の社会福祉協議会の（九州ブロックなど）職員応援などが始まり、本格的にVCの運営ができるようになりました。

GWに入り、多くのボランティアさんが西原村支援に駆けつけていただき、受け入れをお断りする事態もありましたが、その間資機材や物資など多くの支援が（全国へ広めたため）あり、GWの活動期間の支援は順調に進みました。

問題はGW明けのVの参加が懸念され、予想通り5月5日以降人数が激減しました、そのことを多くのメディアも、各支援団体も話題にし、VCの立て直しを迫られ、運営スタッフなどの人員も不足してきました。

社会福祉協議会も中国地方ブロックや四国、近畿地方の職員の応援も正式に依頼し、現時点では、受けられるニーズを、受けられる範囲だけをこなす、作業などにしています。

（南阿蘇などは、事前受付、多くは作業等がこなせないため、可能な範囲、無理をしない範囲でSVを事前受付で行っています。）

（益城町は、多くの団体に地域（部落など）を、お願いし（お任せ）て順次作業を行っています。）

5月18日現在、益城町、西原村、南阿蘇村などでは、罹災証明の発行が始まり（罹災証明などの発行に時間がかかっています。）順次解体業者により解体作業が始まります、（判定度A など危険建物も含む）危険個所を解体し安全であれば家具などの使用できるものや思い出の品など多くの持ち出しをしたいものがあります、今後荷物搬出支援なども行います。

また、避難所から順次仮設住宅（6月後半から入居予定）などへの引っ越しなども行われますので、その支援なども行います。

今回の震災の特徴は、発災時から余震が続き、危険であるなどの判断で支援や災害ボランティアセンターの設置などが遅れた事、九州地方の災害対応（少し遅れ気味だったことなど）や地域性など、多くの要因はあったと思います。

そんな中、神奈川から当団体が支援活動を開始したことで、多くの方々がきっかけを持って支援活動に参加いただいたことは大変ありがたいことと思います。

5月20日現在で125名のボランティア派遣コーディネートと、活動者を送り込み、2団体（学生団体など）のコーディネートも行いました。

また、50ccのオートバイ1台などのセンターで使用できるものを無償提供（1年無償にて貸し出し）を行っています。

今後の支援も、運営スタッフの派遣、一般ボランティア、看護師の健康相談などの作業を現地で展開していきます。



熊本県西原村へのオートバイの提供と、支援金の贈呈など西原村社会福祉協議会事務局局長様へお届けしました。



センター開設会議参加 4月25日



運営スタッフ派遣 など行いました。



西原村社会福祉協議会様との各種お打合せなども行いました。

泉田事務局長 藤森事務局次長 様 などがご対応いただいております。



南阿蘇村に活動拠点を設けました。 4月25日から5月31日まで、南阿蘇村河陰にて、民家をお借りし（10名程度まで宿泊可能、寝袋持参、シャワー使用可、西原村まで40分程度）活動拠点としています。 現在までに80名程度の宿泊者を受け入れています。活動場所は、西原村、益城町、南阿蘇などへそれぞれ活動者を送り込んでいます。



南阿蘇村のSVCです。



南阿蘇村南阿蘇中学校の避難所です。

熊本への支援を、当団体では今後も行います、神奈川県や、大和市、各県市社会福祉協議会、県内で活動している諸団体などとも情報を共有し、有効な支援策を検討し、当面活動を継続していきます、各位におかれましては今後ご支援やご協力、情報等の共有など、お力をお貸しいただけますようお願いをします。

以上、簡単ですが、現時点までの活動報告をいたします、今後の支援等へ何かございましたら、ご連絡等いただくと幸いです。



かながわ県民センターにて各団体（県内で熊本への活動を行っている。）の活動報告と情報共有会なども行っています（2回開催、次回は5月26日18:30～かながわ県民センター11階講義室、神奈川県安全防災局や、かながわ県民センターボランティアサポート課、神奈川県社会福祉協議会、横浜市役所、大和市社会福祉協議会、県内地域SV関連団体等の多くの方々にご参加いただいております。神奈川県HPにもご案内が掲載されています。 URL (<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f100229/p1027614.html>)

2016. 5. 23

一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク 代表 市原 信行